

図－５ 重大事故対策（電源の確保：直流電源）

【工事概要】

- ①蓄電池 2 系統について、全交流電源喪失時に原子炉の冷却等に必要な負荷に 24 時間以上電源供給を可能とするために容量の増強を行った。（蓄電池容量：1400→2400Ah（2 系統とも））
- ②全交流電源喪失時における原子炉の冷却等に不要な負荷のうち、速やかに切り離す必要がある負荷を遠隔にて切り離すための操作盤を中央制御室に設置した。
- ③直流電源系統が機能喪失した場合を想定して、加圧器逃がし弁を作動させるための電磁弁に直流電源を供給するため、専用の可搬型バッテリーを配備した。

【工事概要図】

